

津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会
2012年度第2回避難の課題の調査・分析部会（都市避難部会）議事録~~（案）~~

文責：久保

日 時：2012年11月26日（月）16:00～18:00

場 所：工学院大学新宿キャンパス 28階役員会議室

出席者(敬称略)：大原、久保、(後藤)、(小山)、久田、ユンナミ (〇は Google Hangouts での参加

配布資料：

- 2-0 2012年度第2回避難の課題の調査・分析(都市避難問題)・議事次第
- 2-1 2012年度第1回避難の課題の調査・分析(都市避難問題)・議事録(案)
- 2-2 2012年度 避難の課題の調査・分析(都市避難問題) 各委員の既往の研究活動・計画・予定等の確認について
- 2-3 2012年度避難の課題の調査・分析(都市避難問題) 各委員の今後の研究予定 一覧
- 2-4 大規模震災時の大都市における避難に関する課題 (久田委員)
- 2-5 首都圏大規模水害時の避難場所計画に関する一考察 (大原委員)

議事

1) 確認事項及び親委員会への報告について

- ・久保委員から前回議事録案について、説明があり、出席者全員に承認された。
- ・久田部会長から親委員会での内容について、報告があった。
- ・南海地震や東南海地震による津波に対する避難については、津波部会で検討する事を確認した。本部会では、大都市圏の課題を中心に扱う。

2) 委員研究の紹介・報告 (各 20 分程度)

- ・資料2-4に基づき、久田部会長から2012年度地震工学会でのOSについて報告とOSでの発表内容について報告があった。
- ・資料2-5に基づき、大原委員から研究活動の発表があった。
- ・久保委員から、研究活動の報告があった。
- ・ユンナミ委員から、研究活動の報告があった。

3) 都市避難部会における研究活動に関する議論

- ・資料2-2、2-3に基づき都市避難部会での研究活動について、確認があった。
- ・まだ、既往の研究活動・計画・予定等の確認を提出していない委員へはメールなどで確認をとり、対象地域や考慮すべき災害などを整理し、部会としてまとめられるように進めていく。
- ・小山委員から、対象地域は関西圏(京都、大阪など)、地震や津波などのハザードを考慮して、持続可能な避難計画などを進めていきたいと報告があった。
- ・奥村委員から、対象地域が地方都市と連絡があったが、津波部会での取り扱いになると考えられるので、一度奥村委員に確認を行う。

4) その他

- ・特になし

5) 次回の会議

- ・ 次回の研究紹介について、磯打委員、小川委員、大森委員、末松委員に確認をとり、可能であれば研究紹介を行ってもらおう
- ・ 次回の日程は上記研究紹介を行ってもらおう委員の予定も考慮する必要がある事から、2013年1月29日の午前、午後、夕方のいずれかで実施する事で日程調整を行う。
- ・ 今回同様に次回も Google+ハンダアウトによる会議を実施する。

以上